

「防災隣組の編成」

(浜松市小松八幡自主防災隊)

特徴ある活動

- 小松八幡自主防災隊では、防災対策の中で「自助」、「共助」、「公助」に続き、「近助」：隣近所で助け合うことを提唱しており、有事の際、確実な安否確認や情報伝達が実施できるよう、平成23年度から3～5世帯、20人前後の「防災隣組」を編成し、毎年、安否確認訓練を実施している。訓練は昼間だけではなく、夜間にも実施しており、最近では希薄になりつつある近所付き合いについて、少しずつではあるが、顔の見える関係づくりが構築されつつある。
- 3人の防災委員の中には、防災士、災害ボランティアコーディネーターの講座を受講された熱心な方がおり、防災訓練時には、自ら講師となり自主防災講座を実施し、非常食、飲料水、簡易トイレなどの備蓄を行うよう住民に促している。

自主防災組織の概要

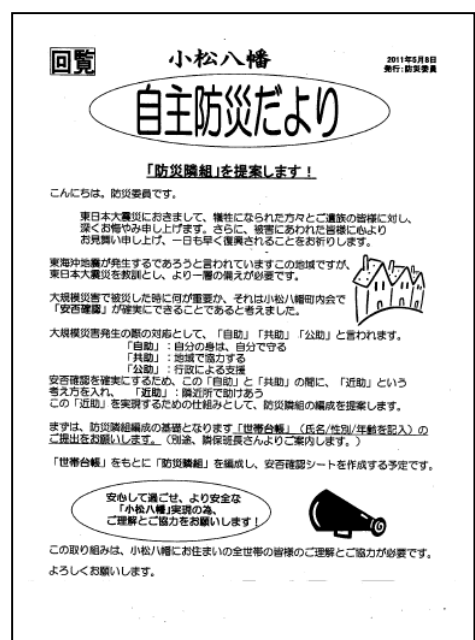
小松八幡自主防災隊は世帯数 422 世帯、37 の班から構成されている。

市街地から北北東へ約 12km 離れた浜松市浜北区の南部に位置し、西には二級河川の馬込川が流れる。

人口の約 25% を高齢者が占めているが、最近では新興住宅地としての開発が進んでおり、子育て世代の移住が増えつつある。

参考資料

「自主防災だより」防災委員作成



自主防災だより

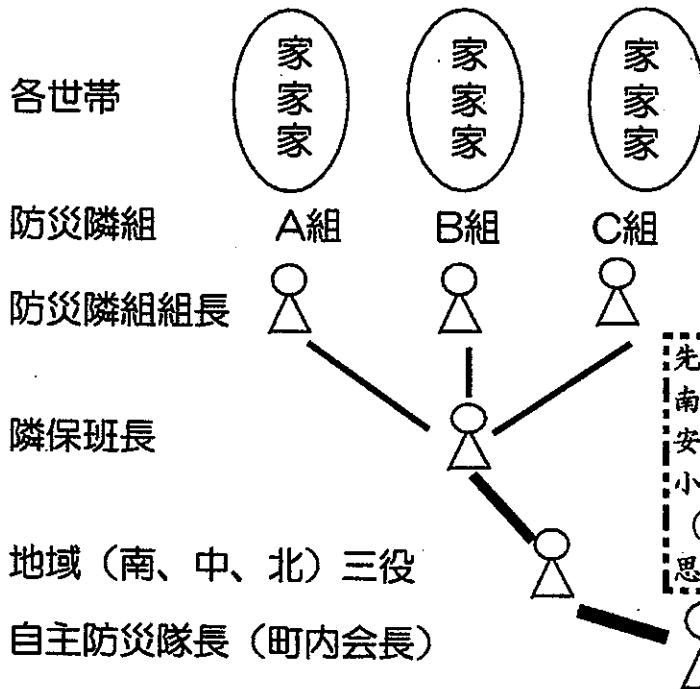
「防災隣組」を編成します！

こんにちは。防災委員です。

「世帯台帳」へのご記入、ご提出、ありがとうございました。
これから、3～5世帯/20人前後を基本とした「防災隣組」を編成して参ります。
隣保班長さんより、ご提案をさせていただきますので、ご確認をお願いします。
また、防災隣組の安否情報を隣保班長さんに伝達していただく代表として、
(防災隣組の) 組長さんを決めさせていただきます。

「防災隣組」が編成されましたら、「安否確認シート」を作成します。
この「安否確認シート」をもとに、9月の総合防災訓練、12月の地域防災訓練の際に、「安否確認訓練」を実施する予定です。
実施内容の詳細は、改めてご案内させていただきます。

<安否確認（情報伝達）イメージ>



先日行われました「自主防災推進座談会」で、南自治会では、「黄色いハンカチ」を使った安否確認訓練を実施したとの報告がされました。小松八幡として、「防災隣組」による安否確認（情報伝達）の仕組みを確実に立ち上げたいと思いました。



この取り組みは、小松八幡にお住まいの全世帯の皆様のご理解とご協力が必要です。
よろしくお願いします。

自主防災だより

「防災隣組」を提案します！

こんにちは。防災委員です。

東日本大震災におきまして、犠牲になられた方々のご遺族の皆様に対し、深くお悔やみ申し上げます。さらに、被害にあわれた皆様にご心よりお見舞い申し上げ、一日も早く復興されることをお祈りします。

東海沖地震が発生するであろうと言われていますこの地域ですが、東日本大震災を教訓とし、より一層の備えが必要です。

大規模災害で被災した時に何が重要か、それは小松八幡町内会で「安否確認」が確実にできることであると考えました。



大規模災害発生の際の対応として、「自助」「共助」「公助」と言われます。

「自助」：自分の身は、自分で守る

「共助」：地域で協力する

「公助」：行政による支援

安否確認を確実にするため、この「自助」と「共助」の間に、「近助」という考え方を入れ、「近助」：隣近所で助けあう

この「近助」を実現するための仕組みとして、防災隣組の編成を提案します。

まずは、防災隣組編成の基礎となります「世帯台帳」（氏名/性別/年齢を記入）のご提出をお願いします。（別途、隣保班長さんよりご案内します。）

「世帯台帳」をもとに「防災隣組」を編成し、安否確認シートを作成する予定です。

安心して過ごせ、より安全な
「小松八幡」実現の為、
ご理解とご協力をお願いします！



この取り組みは、小松八幡にお住まいの全世帯の皆様のご理解とご協力が必要です。よろしくをお願いします。